

開催地名：兵庫県加東市	
開催日時	令和2年10月7日（水） 14：30～16：00
開催場所	加東市役所
語り部	奥寺 啓蔵（岩手県遠野市）
参加者	加東市職員 約60名
開催経緯	<p>当市は、大災害の経験がなく、市内を通る山崎断層地震による災害が発生した際の想定や、平成30年7月豪雨や令和元年の台風19号、令和2年7月豪雨並みの風水害が発生したときのイメージが、住民にも市職員にもほとんどできていない。今回は元行政職員の語り部の講演を聞くことで、防災に対する意識を持つこと、準備をすることの必要性について深く学ぶこととしたい。</p>
内容	<p>（1）東日本大震災発生と後方支援</p> <p>私は昭和50年に遠野市役所に入所し、複数の部署に勤務してきた。東日本大震災発生時は、遠野市消防本部の消防長だったため、対策本部の副本部長として市内の災害対応、その後、沿岸被災地の後方支援活動に対応した。本日は、東日本大震災について、体験をもとにお話ししたい。</p> <p>平成23年3月11日、14時46分に発生した大規模な地震により、東北の太平洋側は津波による大きな被害を受けた。津波の高さは、岩手県においてはリアス式海岸ということもあって、5階建ての建物の高さまで及んだところもあった。</p> <p>遠野市は岩手県のほぼ中央（内陸部）に位置し、盛岡市、花巻市、北上市、陸前高田市から宮古市への4つの国道が交差する交通の要衝で、人口は約27,000人の都市である。花崗岩地質で活断層がなく、地震に強い地域として研究者にも太鼓判を押されている。こうした特徴を生かし、東日本大震災以前に当時の市長が、「海のない、津波の来ない、遠野だからこそ、果たすべき役割がある」という考えから取り組んだのが、「後方支援拠点構想」であった。</p> <p>地震発生後、日没前の16時30分には市内の被害状況を把握することができた。停電、断水は数日続いたが、幸いにして市内での家屋倒壊、火災はなく、死者・重傷者はいなかった。市役所の本庁舎が全壊してしまい、駐車場にテントを設営して対策活動を開始した。</p> <p>12日未明（午前1時40分）に大槌町から2つの峠を越えて一人の男性が本部テントに駆け込んできた。大槌町では、大槌高校に500名が避難しており、水も食料も何もない状態のため、すぐに助けてほしいということであった。県からの指示を待つことなく、市長の判断で職員が物資を積んで大槌町に向かった。そこから沿岸の釜石市、大船渡市、陸前高田市、山田町に対しても手探りで支援を拡大していった。道路は寸断されている箇所も多く、運動公園をヘリポートとしてヘリコプターでの輸送も行った。支援隊の受け入れ、被災地への物資搬出、おにぎり隊の運営、ボランティア団体の宿泊場所調整、がれき撤去、保健師の派遣、</p>

文化財レスキュー等の後方支援活動を、役割・担当の枠を越えて、情報を共有しながらその場の判断で対応していった。さらに、この動きは市民にも広がり、被災者のために官民一体となった後方支援活動として展開された。

(2) 防災とは

東日本大震災で、岩手県釜石市の3,000人近い小中学生のほぼ全員が避難し、奇跡的に無事だったことは、多くの人の記憶に残っている。地震発生直後、釜石東中学校の生徒達は直ちに学校を飛び出し、高台をめがけて走った。彼らを見て、近所の鶴住居小学校の児童や先生達もあとに続き、さらには多くの住民もそれに倣った。中学生たちは年下の児童達を助けながら走り続け、安全な場所に一緒に辿りついた。その時、彼らの背後では巨大な津波が町を飲み込んでいた。釜石市では1,000人以上が亡くなったが、学齢期の子ども犠牲はたまたま津波が襲った時に学校にいなかった5人のみだった。子どもたちが無事に避難し命を救えた話は「釜石の奇跡」として知られるようになった。生徒達が迅速な対応をすることができたのは、実は釜石市内の学校が群馬大学の片田敏孝教授の指導のもとで数年間取り組んできた防災教育プログラムの成果であった。「想定にとらわれず、最善を尽くして率先して高台に逃げる」という防災意識を子どもたちに植え付けていたのだ。

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害で、行政の防災に対する意識、対応が変わった。行政がすべての住民の命を守ることに限界があることが改めて認識されたことで、自分の命は自分で守るという考え方にに基づき、行政はサポートしていくという流れに移行した。自助、共助が基本で、公助でサポートすることである。住民にこのことをしっかりと理解してもらい、防災意識を育んでいくことが、今後の行政の使命であると思う。



開催地より

豊富な写真や動画とともに、東日本大震災での実体験をお話しいただいた。大変参考となる内容であった。想定にとらわれることなく、市内全域で防災意識の向上に向けていきたいと思う。